

## (1) 第2次富士見市環境基本計画について

### 1 パブリックコメントについて

パブリックコメントに対する市の考え方を説明（別紙）

※環境基本計画（案）及びパブリックコメントに対する回答資料は、事前資料として各委員に提示した。

### 2 質疑応答

委員： 基本計画10ページ「(5) 交通」において記述されている、市内3駅の乗降客数については、増減の数字だけではなく実際の乗降客数を記載したほうが良いのではないかと。

鶴瀬駅における乗降客数の減少については、ふじみ野駅との関係があるものなのか参考にふじみ野駅の開設時期を教えてください。

※以降、基本計画はページのみでの記述とする。

事務局：乗降客数の記載については検討いたします。  
ふじみ野駅は平成5年11月に開設されています。

委員： 39ページにある写真は、鶴馬氷川神社ではなくて下鶴馬氷川神社ではないでしょうか。

事務局：修正します。

委員： 48ページには「交通マナーの啓発を行うとともに、交通弱者に配慮した」との記述があるが、25ページ生活環境の項目内には「公共施設のユニバーサルデザインによる施設づくりが進められている」との記述がある。48ページにある「交通弱者」の前に「ユニバーサルデザインによる」と追記できないか。

委員： 両方のページにある文書を確認し、互いに整合性が図れるのであれば、追記して更に注釈を入れるべきではないか。

事務局：検討します。

委員： 5ページに記述されている「富士見市環境施策推進市民会議」の文字が切れているので修正してください。

事務局：修正します。

委員： 46ページとパブリックコメントNo. 36には、市の考え方として空間放射線量への対応状況などの記述があるが、基本計画内の記述内容が少ないのではないのでしょうか。ホームページなどを利用した情報提供なども加えてみてはどうでしょうか。

事務局： 本市では、大気中の放射線量の測定を2ヶ月に1回実施し、状況により46ページにありますマニュアルに基づいた低減対策を行っています。

また、測定場所は、市内の主な公共施設52箇所として小中、特別支援学校、幼稚園、保育所、主な公園となっており、情報はホームページで公開しています。

ご指摘の基本計画への追加事項につきましては、基本計画の記載の流れから判断すると、ここに具体的な取り組みとして、情報提供の方法を記載する必要はないのではないかと考えます。

委員： せっかく実施しているのであれば、記述することでもっと市民にとっては、理解しやすくなるのではないか。「マニュアルに基づいて実施します」のみではなく、「マニュアルに基づき実施し、かつホームページでも報告を続けます」とすると、はっきりして良いのではないのでしょうか。

委員： 10年間の基本計画なので長期間の縛りになってしまう。ホームページの件は運用面での対応で良いのではないのでしょうか。

委員： 測定は空間放射線量のみの測定ですか。

事務局： その通りです。

委員： 基本計画の中にあまり細かい事項を入れてしまうと、変更があった場合などには、その都度改訂版を出すことになる。どうしても記述が必要ならば、基本計画の資料編への記述が望ましいと考えます。

事務局： 検討します。

委員： 73ページに「ESCO事業(p. 71※39)」との記述がありますが、p. 70の誤りではないのでしょうか。

事務局： 修正します。

委員： 21ページに表示されているグラフのデザインについてですが、「空気のきれいさ」と「水のきれいさ」を比較した時に、「どちらとも言えない」との回答が互いに33.6%ですが、同じ数字でも印象が異なって見えてし

まうので、デザインなどを見直すべきではないでしょうか。

また、22ページにあるグラフについては、回答項目の並べ方が複雑に感じます。合計数字が100%を超えてしまうところもありますので、再度確認をお願いします。

事務局：確認後、修正します。

委員：1ページに記述されている「環境に優しい都市宣言を平成12年4月に宣言し」語感的に宣言を発表とか公布などにするほうが読みやすいのではないのでしょうか。正確な書き方だと思いますが宣言が繰り返されると、読みづらく感じます。

また、同じく1ページに記述があります「しかしながら、わたしたちのまわりを取り巻く環境は」については「わたしたちを取り巻く環境は」とし、「電力供給における課題や放射性物質の」との記述は「電力供給における課題や放射性物質への」とした方が良いのではないのでしょうか。

事務局：検討します。

委員：4ページから5ページに記述されています「富士見市環境施策推進市民会議」についてですが、4ページでは「リーダーシップをとることが期待されます」となっていますが、5ページでは「市民、事業者、行政で構成された組織です」と単純な記述となっているため、リーダーシップをとらせたいのかどうか、あいまいになっており、発信者の態度が非常に明確でないと読み取られてしまうのではないのでしょうか。

また、5ページの一番下に記述されています「広域的に捉えた活動が期待されます」ではなく「活動を推進する事」や「活性化する」といった動詞が加えると良いのではないのでしょうか。

事務局：検討します。

委員：48ページに「自転車歩行者道」との記述がありますが、個人的には、自転車は本来車道を走るイメージがあります。

自転車と歩行者が共有できる道路を作ることは、許されるものなのではないでしょうか。

また、「自転車歩行者道」がどのようなものなのか、わかりやすく表現することを検討されたのでしょうか。

例えば、同じ文中にある「自転車駐車場」については、法律上の表現と一般的な駐輪場といった表現を併記する配慮が見受けられていますが。

委員：「自転車歩行者道」は実際にあります。例えば、歩道の幅が3.5メー

トルから4メートルで、歩道の上には歩行者と自転車のマークがついた看板が設置されているものや、歩道での色分けや歩道中央に植樹帯などを設けるといったものもあります。

委員：「自転車歩行者道」との表現は、あるものと考えて良いのでしょうか。

委員：そのとおりです。

委員：しかし、誤解を招くことも考えられる。自転車ライン歩行者兼用道としてみてはどうでしょうか。

会長：本来は、歩行者が主役で自転車が後の方が望ましいと思います。

委員：この表現には、戸惑う人もいます。何か、解説などを示してみはいかがでしょうか。

委員：現在、自転車は車道に持っていく流れになっていると思います。背景には、自転車による事故が多いことが考えられます。現在の自転車歩行者道は、きちんとした仕切りが無く危険なので、表現もなるべく自転車は車道の方向へ持っていく文言が良いのではないのでしょうか。

事務局：この文言は法律上の表現ではありません。基本計画を作成するにあたり、実際に使われている表現を引用したのですが、市役所近くでの実例としては、富士見市役所正面から鶴瀬駅に向かう歩道上にある自転車と歩行者の区割りが線でされているものです。馴染みの無い表現なので戸惑うかもしれませんが、一般的に自転車は車道というイメージはまだ少ないと思われます。

委員：パブリックコメントNo. 17にある自転車通行帯の整備には、歩道を含めた道幅が最低でも16メートル以上必要となります。立地的に富士見市では数が限られてしまいますし、道路構造の主流も10年経過すると変化してくる実情があります。

基本計画は10年計画なので、あまり細かく記述する必要は無いものと考えます。

会長：4ページと5ページの整合性についてはどのようにしましょうか。

委員：富士見市環境施策推進市民会議（以下「市民会議」という）の役割が不明確に感じられます。市民会議の活動が基本計画と連動して行くテーマがあってもよいと思いますので、しっかり整理してから整合性のとれる表現

が必要ではないでしょうか。

委員： 90ページに記述されています基本計画のチェックを市民会議で行なうことは、実際のところ非常に厳しいのではないのでしょうか。市民会議のメンバーが任期で変わってしまい継続性に乏しい現状の中で、どのようなリーダーシップを取るのかしっかり記述しておく必要があると思います。

会長： 市民会議の運用面の問題もあり、きっちり記載することは難しいですね。

委員： 4ページには「知識と意欲をもって進める協働組織です」とありますので、具体的には何を進めるかといったものが必要ではないでしょうか。

委員： 市民会議の会則などが有るのであれば、そこから引用してみてもいいのではないでしょうか。

事務局： 88ページでは、推進体制の中で市民会議が行う事業などを大きくまとめ、その位置づけをしています。具体的な内容については、市民会議の中で検討させていただければと思います。

事務局： 4ページ及び5ページの表現については、事務局で検討させていただきます。

委員： 基本計画の5ページに記述されています「活動が期待されます」の表現は、どうでしょうか。

事務局： 修正します。

委員： 5ページに市民会議の写真を入れる意味は、何かあるのでしょうか。4ページにある役割と一緒にすることで、すっきりするのではないのでしょうか。

事務局： 検討します。

委員： パブリックコメントについての回答は公開されているのでしょうか。公開されている中で「計画を進めるにあたりましての貴重なご意見としてまいります」との表現は少し不親切ではないのでしょうか。

パブリックコメントを出していただいた側の立場になったとき、市では他の部署に係る部分について、検討されているのかと疑問がわくのではないのでしょうか。「関係各課と協議し」といった表現があれば、自分の意見が各担当課に伝わって検討されると理解していただけるものと感じますが、

いかがでしょうか。

事務局：この文言は関係各課による確認を経て、ホームページに掲載されています。

委員：確認されているのであれば、その旨の記述があった方がよいと思います。

事務局：当然のことながら、この計画は環境課のみではなく、市として作成しているのもであって、パブリックコメントも市として受け止め、関係各課と協議して回答をしているものです。

委員：次回から検討してください。

委員：地球温暖化についてはしっかり計画が記述されているが、実際には温室効果ガスは増え続けており問題非常に難しい問題であると思います。

これは、国や県の指示に基づいて計画づくりがなされていると思いますが、10年経過したときには、ほとんど変化がなかったという可能性もあり、非常に厳しいと思われます。環境家計簿のように実績ある取り組みを地道に積み重ね、その情報を公開していくことが非常に大事だと思います。計画の中に環境家計簿の取り組みについての紹介や情報などをどこか表現できないでしょうか。

委員：賛成です。家計簿を上手に活用した方がよいと思います。

委員：85ページにあります「広報やホームページなどによる情報提供を行い」との記述がそれに当たるのではないのでしょうか。

事務局：毎年発行している「富士見市の環境」で他の事業の紹介とともに、引き続き広く市民に情報を公開していきたいと思っています。

委員：計画の答申の決を採りたいと思います。  
賛成の方の挙手をお願いします。

全員挙手

委員：全員挙手ということで、答申としてこの後、市長へ提出いたします。